



## 施策 6-3 ふるさと意識の共有

### 【現状と課題】

生き生きとした新しい町を創り上げる主体は町民であるという観点から、様々な段階における町民が交流する機会の創出や、町民の一体感の醸成を推進するため、ふるさと意識を共有できるような取組みも必要となってきます。

特に、参加と協働が活発なまちづくりを進める上で、「私のまち」「私のふるさと」という意識を町民間に醸成することが重要であり、学校教育や生涯学習施策、地域コミュニティ活動支援施策等との連携の下、ふるさと「南三陸町」への郷土意識の醸成や各種イベントなどの企画や様々な事業に町民が参画する機会を設けることで、旧町間の垣根を越えた新生南三陸町としてのふるさと意識を醸成していくことが必要となります。

### 【基本事業】

#### 6-3-1 各種イベント等への参画機会の創出

ふるさと意識を醸成する各種イベントやまちづくり活動などの各ステージにおいて、町民が交流する機会を創出するとともに、ふるさとまちづくり・ひとづくり創出事業や南三陸町夢大使事業を展開することを合わせ、町民のふるさと意識の共有を促進していきます。

#### 6-3-2 ふるさと意識醸成のための横断的施策の展開

ふるさと意識を醸成する学校教育、生涯学習、コミュニティ活動支援等の横断的な施策を展開します。

基本事業	主要事務事業
各種イベント等への参画機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさとまちづくり・ひとづくり創出事業（再掲）</li> <li>・南三陸町夢大使事業</li> <li>・新しいまちづくり活動への支援事業</li> </ul>
ふるさと意識醸成のための横断的施策の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ団体活動支援事業（再掲）</li> <li>・公民館講座等における地域学習講座の開催</li> </ul>



## 施策 6-4 國際交流・地域間交流の推進

### 【現状と課題】

近年、企業の経済活動を背景とした雇用政策として、国際社会との関わりを持つ企業が増えています。

本町においても、水産加工業を中心に外国人労働者を雇用する企業が増え、また、観光産業においては、外国人研修生を受け入れるなど、国際交流が盛んに行われています。今後は、都市住民や友好町の山形県庄内町をはじめとする県内外からの交流人口の増大を図りながら、町の活力を創出していくことが求められており、豊かな地域資源と町の特色を活かした取組みを展開することが重要となります。

### 【基本事業】

#### 6-4-1 國際交流環境の充実

国際理解を深め、国籍や民族に関わらず互いの人権を尊重し、生活していく多文化共生社会の形成を目指し、町民による様々な国際交流活動を支援していきます。

#### 6-4-2 地域間交流の推進

平成18年5月に友好町の盟約を締結した山形県庄内町との友好町交流事業や本町の地域資源を活用した産業経済・教育文化などの多方面にわたる地域間交流を活発化します。

基本事業	主要事務事業
国際交流環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流活動支援事業</li> <li>・海外出身者への各種情報提供事業</li> </ul>
地域間交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友好町等交流推進事業</li> </ul>

